



讃謳我未来

～ 進路指導室だより ～

鹿児島県立曾於高等学校

第26号

令和元年12月17日(火)発行

◆ 大学入試センター試験

大学入試センター試験本番まで残り32日となりました。本校からは17人の3年生が挑みます。受験する生徒の皆さん、気持ちを切らさず、とにかく勉強し、体調管理を徹底してください。

＜受験会場＞ 鹿屋体育大学

＜時間割＞

1/18(土) 地歴公民 (2科目)	9:30～11:40
〃 (1科目)	10:40～11:40
国語	13:00～14:20
外国語[筆記]	15:10～16:30
〃 [リスニング]	17:10～18:10
1/19(日) 理科① (基礎科目)	9:30～10:30
数学① (I Aなど)	11:20～12:20
数学② (II Bなど)	13:40～14:40
理科② (2科目)	15:30～17:40
〃 (1科目)	16:40～17:40

◆ 変わる大学入試～あと1年

先月文部科学省から大学入学共通テスト(2021年1月実施)での英語民間試験の活用見送りが発表されました。また現在、国語と数学への記述式問題導入の見送りが検討されているところです。

受験生にとっては、大学入試が今後どのように変わっていくか心配ではありますが、今まで GTEC を受験し、記述式の問題に取り組んできたことは、今後の学習に対して必ずプラスになっています。引き続き、大学入試や志望校の情報を収集しながら、進路実現に向けて、力をつけてほしいと思います。

◆ さて、誰のことでしょう？

6歳で父を失い、3人の兄弟の世話をしながら、働きづめの母を助けるために家庭料理を手がけるようになる。12歳の時、母の再婚をきっかけに家を出てからは、機関車の修理工や保険の外交、蒸気船、フェリーのサービスステーションなどの様々な職業を転々とする。30代後半にはガソリンスタンドを経営するが、干ばつや大恐慌で倒産。60歳でレストラン事業を始めるが、失敗し多額の借金を抱え込み、社会保険で生計を立てる。62歳で、背水の陣の思いで更に借金を重ね、手元に残ったわずかな資金で再度レストラン事業を模索…。

次に続くのはこの方のコトバです。

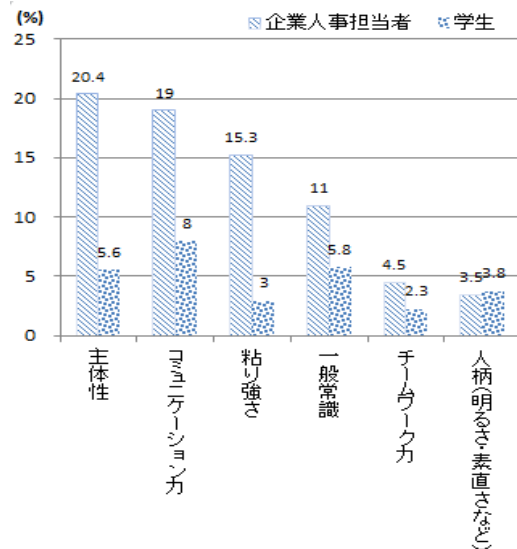
失敗とは、再始動したり、新しいことを試したりしたりするために与えられたチャンスだ。私はそう信じている。

私がやったことなど、誰にでもできることだ。ポイントはただ一つ。心から「やろう」と思ったかどうかである。心が思わないことは絶対に実現できない。

今後の学校生活、また、これからの人生においても、楽しいことばかりではなく、様々な困難や試練が待ち受けています。決して逃げずに、必ず乗り越えてやろうという前向きな気持ちをもって、試行錯誤してほしいと思います。

ちなみに、この方が誰かは第27号で発表します。早く知りたい人は進路指導室まで。

◆ 社会で求められる力



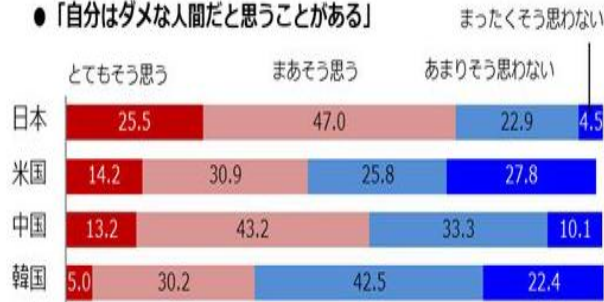
出典 経済産業省「大学生の『社会人観』の把握と『社会人基礎力』の認知向上実証に関する調査」を基に編集・作成したグラフ

企業が学生に不足していると思う力と学生自身が自分に不足していると思う力を比較しています。グラフからギャップの大きさが伺えます。上位の「主体性」「コミュニケーション力」「粘り強さ」は学生が思う以上に企業の人事担当者は今の学生に不足していると感じています。

今後、大学入試においても主体性等が評価されるようになってきます。これから社会で求められる力です。指示待ちではなく、自ら考え、判断し、動けるようになってください。また、今後特に、この上位3つを意識して生活し、各自伸ばしてほしいと思います。

◆ 自己肯定感

● 「自分はダメな人間だと思うことがある」



出典 国立青少年教育振興機構「高校生の生活と意識に関する調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較」2015

ずいぶん前のデータですが、この調査結果をみてどう感じますか。皆さんはどう思いますか。謙虚さから低く答えるかもしれませんね。

生活する中で「自分はダメだ」「自分には無理」と思えば、行動は移しにくくなります。きっと過去の経験から自分には能力がない、失敗しそうだと判断してしまうのでしょう。しかし、それは成長する機会を自ら放棄していることであり、非常に勿体ないです。

根拠がないかもしれませんが、普段から「自分是可以する」という自信をもって、自分に対する信頼や自分の価値を高めていくことが大切です。何事も「できる」「できるかも」と思うことから始まります。

◆ あなたの弱点は何ですか？

次の中で、あてはまるものは何個ありますか。

学 習
<input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 漢字 <input type="checkbox"/> 文章を書く <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 家でできない
部 活
<input type="checkbox"/> 苦手プレーあり <input type="checkbox"/> メンタルが弱い <input type="checkbox"/> 体力なし
行 動
<input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> 整理整頓 <input type="checkbox"/> 人前で話す
<input type="checkbox"/> 集中力が足りない <input type="checkbox"/> 期限内に提出物を出す
性 格
<input type="checkbox"/> わがまま <input type="checkbox"/> あきらめが早い <input type="checkbox"/> 常にネガティブ

弱点を克服しないまま、受験や大会に臨み、その結果、大切な場面で、弱点が現れ、涙を呑む生徒を多く見てきています。今のままでは、これから行く先々でも、弱点によって、あなたを苦しめる場面が訪れることでしょう。

まず、自分の弱点を知り、それを受け入れることから始めてください。どこかで開き直ったり、いいわけをしたりしていませんか(4D **でも・だって・どうせ・できない**)。きっと弱点の部分は、今までほったらかしにしてきたことでしょう。今ここで、弱点である苦手や嫌いなものと向き合い、その一つ一つに対して「何故そうなるのか」を追求し、改善策を考え、行動に移してほしいと思います。弱点を克服すれば、新たな発見もあり、きっと進路選択の幅も広がることでしょう。

◆ ぶれない軸を作る

表1からは全国にたくさんの上級学校があることが分かります。いくつ知っていますか。また、表2からは年々求人数が増加していることが分かります。しかし、この状況がいつまで続くでしょうか。1・2年の皆さんは今後、このようにたくさんの学校や求人票の中から自分の進路先を選ぶことになります。

ぜひ自分の中で「進路をどうしたいのか」という軸を、時間をかけて創り上げてほしいと思います。進学？就職？県内？県外？何を学ぶ？どう働く？・・・もし、いつまでもしっかりとした軸をもっていなければ、大事な時期に気持ちがぶれてしまったり、受験本番に向けて準備不足になったりしてしまいます。自分と向き合い、自分の進路を社会や仕事、将来につなげて考え、ぶれない軸を創ってほしいと思います。

表1 全国にある上級学校の数

国立大学	86	短期大学(公立)	17
公立大学	93	短期大学(私立)	314
私立大学	603	専門学校	2805

平成 30 年度学校基本調査報告書<文部科学省>

表2 本校の4力年の求人件数

	県内	県外	計
平成 28 年度	199 件	677 件	876 件
平成 29 年度	323 件	894 件	1217 件
平成 30 年度	357 件	1068 件	1425 件
令和元年度	405 件	1174 件	1579 件

※ 令和元年度は 11 月末までの合計

◆ 残り 2 週間

あと少しで今年が終わります。どんな1年でしたか？個人的には皆さんが学習面や部活動において、どれだけ目標達成ができたか、どれだけ目標に近づくことができたか、そして進路実現に向けて、どれだけ準備ができたかが気になるところです。

他人と比較して、他人が優れていたとしても、それは恥ではない。しかし、去年の自分と比較して、今年の自分が優れていないのは立派な恥だ。

ジョン・ラボック(19世紀イギリスの政治家)

成長したいですね。今年の夏を過ぎた頃の自分と今の自分を比べてもいいかもですね。身につけたことや行動がよくなったことがどれだけありますか？

高校3年間で、様々な目標や進路実現に向けて真剣に向き合い、取り組むことによって、精神的にも体力的にも能力的にも大きく成長することができます。そして、その中で人間力も大きく高まります。

今日から、明日から、もしくはこの新年を迎えるにあたって、よりよく変わってほしいと思います。皆さんにとって2020年が飛躍の年になりまうように。